



ことことこと



日（日）に東京で開かれた「地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム2012」に、伊藤正一会長ほか4人が参加しました。

「集めようみんなの『え』！ 活かそうみんなの『わ』！」というテーマのもと、全国各地から130人以上が

集い、地域医療について活発に意見を交わしました。

シンポジウムでは、地域医療の危機に対し主体的な活動を展開する住民活動の事例報

を通じて感じたことは、知ること、気付くこと、行動することの大切さです。

住民、医療者、行政など、それぞれの置かれている状況や立場、考えを知る機会が少ないと、一方的な要求や不満が生まれ、不幸な結果を招いてしまいます。

私たちは活動を通して、病院に勤務する先生方の長時間に及ぶ過酷な勤務環境を知りました。

昨年7月の坪内斉志小林市立病院長を講師に招いた学習会を皮切りに、8月の腎友会西諸ブロック学習会、10月の小林商工会議所青年部例会において、西諸における地域医療の現状と今後の展望について学び、様々な意見を交換しました。

9月の協働のまちづくり小林宣言大会と今年3月のこばやし健康フェスティバルにも参加し、活動PRを行いました。広報活動としてみやぎん経済研究所発行の調査月報に

2013(平成25)年5月15日

第007号(不定期発行)

発行：地域医療を考える会

住所：〒886-0007 真方89-1

Tel: 0984-22-3008

Fax: 0984-23-0325

ホームページ <http://k-iryou.gr.jp/>

地域医療 住民活動

全国シンポジウムに参加

活動の「え」と「わ」広げる

告などを通して、自分たちの地域の医療問題を考え、具体的な活動を進めていくための方策を探りました。

様々な地域・職種・立場の人間で行ったグループワークを通じて感じたことは、知ること、気付くこと、行動することの大切さです。

住民、医療者、行政など、それぞれの置かれている状況や立場、考えを知る機会が少ないと、一方的な要求や不満が生まれ、不幸な結果を招いてしまいます。

そして頑張つていただいている先生方を支えているのは、患者やその家族、周囲からの感謝の気持ちであることに気付きました。そして今、時間内に受診に努めよう、感謝の

活動には3本の柱があります。私たちの大切な医療を守り育てるために何が必要で、一人ひとりに何ができるのか。これからも学び、伝え、行動していきたいと思います。

学び・伝え・広げる活動展開 地域医療への理解深めて



腎友会西諸ブロック学習会の模様

活動紹介で熱弁する伊藤正一会長

活動を通じて多くの人々とも活動が掲載されました。

活動を通して多くの人々ともコミュニケーションを図り、日常の話題の中で地域医療を考えただく機会が増えると嬉しく思います。西諸の関心事として地域医療の理解を深化させたいです。(山下)

私がコラム担当という事で、たいしたことないコラムになれるかも知れませんが乱文になりますが、とにかくください。▼さて、唐突ではありますがあなたの大好きな医療を守り育てるために何が必要で、一人ひとりに何ができるのか。この日に2人目の子供が誕生しました。▼長女の優芽(ゆめ)と申します。第一子は男の子だったのですが、やはり女の子も可愛いですね。早速、私はやらーん!等々、息巻いております(笑)▼元々、息巻いがこの地域医療に関心を寄せたきっかけは、国道268号線を深夜に小林から宮崎に向かって急行する救急車両を見かけたことからスタートします。▼仕事柄、まちづくりや福祉分野に思いをめぐらすことが多いのですが、実際に自分に家族ができて、子供ができる、「安心して西諸・小林で生活できるのか?」と考えた時に非常に不安を覚えました。▼腰を据えて自分の仕事を成長させる。そして地域に貢献する。少しでも地元小林の安心なまちづくりに取り組んでいこうと思います。まさに「地域医療はまちづくり!」ですね。

コラム



副会長
坂口 和也

みやざき
ツーデーマーチ

歩いて歩いて健康づくり

こばやし霧島連山絶景ウォーキング

2月23日(土) 24日

(日)の2日間で行われたみやざきツーデーマーチ。小林市では初めての開催で、30を超える他県の方々を含め、のべ3,000人規模の参加者でした。私たち地域医療を考える会の本年度の主力事業でもある健康づくりの一環で、多くの会員も参加いただきました。



パレードに参加し

活動PR こばやし秋まつり

私たちには、私たちの活動を直接市民の皆さんに知つていただく機会がなかなかありません。

そこで、たくさんの人で賑わう11月23日の「こばやし秋まつり」のパレードに参加し、沿道の皆さんに「みんなで、協力して、私たち



のこの地域の医療を考え、守り、育てましょう」と呼びかけながら、地域医療を考える会のチラシを配つて練り歩きました。

特に、チラシにも記載している、▼時間内に受診しよう、

心できるまちこばやし」を、

西諸医師会の沖美和先生は、西諸の小児医療体制の厳しさを指摘したうえで、「こども救急ガイドを活用し、医

に努めよう、会への加入のお願いなども行いました。

こばやしの皆さんの健康と、「病気になつても安心できるまちこばやし」を、

日頃より簡単にできる自分にあった運動を見つけて、リ

コバヤシ遊歩百選。

全国ウオーカー仲間と一緒に歩いたことが力になつて、いつもと違つた自然の見方。

出水の人からゆつくり楽しみ

ましょう。ウォーキングの良さを体感しました。皆さんと一緒に健康作り、体力作り。

自分の健康をよりよく持つて

ましよう。おはんとさるこ、

コバヤシ遊歩百選。

感想



副会長
久寿米木美代子

ラックスして続けることが健康づくりの近道だということが健

が、今回の大会を通じて分か

りました。(山下)

康づくりの近道だということ

が、今回の大会を通じて分か

りました。

感想

のぼり・クリアファイル・花

の種の三種類。県内の住民活

動団体や地域医療にご尽力い

ただいている関係機関にお届

けました。

のぼり・クリアファイル・花

の種の三種類。県内の住民活